地域企業の存続・発展を、金融と会計の連携で支える

しまね信用金庫 × ＴＫＣ中国会 島根県支部

トップ対談開催報告



トップ対談　概要

日時：２０２６年９月２８日（月）
１５：３０～１６：３０
場所：しまね信用金庫 本店

【しまね信用金庫】
・久保田徹様（理事長）
・石川大様（常勤理事　経営企画部長）
・安達宣博様（執行役員　事業支援部長）
・林裕也様（事業支援部次長）

【ＴＫＣ中国会島根県支部】
・福田龍太（支部長）
・角田和宏（支部中小企業支援委員長）
・高橋美晴（中国会相談役）

1 「顔の見える関係」を築き、地域企業への支援を強化

久保田理事長から、原材料価格の高騰、円安、金利上昇、人手不足など、中小企業を取り巻く厳しい経営環境について説明いただきました。地域経済の発展には中小企業の活躍が不可欠であり、中小企業の事業発展こそ信用金庫の生命線であるとの認識が示されました。ＴＫＣ会員からは、月次巡回監査を基礎とする月次決算体制と、税務・会計・保証・経営助言の４大業務を紹介し、支援対象が重なる両者が連携を深める意義を確認しました。

2 WebBAST・月次BASTを活用した経営改善支援

久保田理事長から、営業店長時代にＷｅｂＢＡＳＴを取引先の財務的な強み・弱みの分析に活用した事例が紹介されました。同業他社比較から原価率が高いことを把握され、仕入先との価格交渉や見直しを提案した結果、粗利益改善に繋がったとのことです。ＷｅｂＢＡＳＴが会話と提案のきっかけになった経験を踏まえ、今後は職員への利用促進を図る考えが示されました。ＴＫＣ会員側からは、毎月更新される月次ＢＡＳＴも有効であることを伝え、さっそく新規利用登録いただきました。



3 地域企業の存続・発展に向けた具体的な連携

（1）伴走型の経営支援と経営改善計画

しまね信用金庫様では、経営者との定期面談を通して資金ニーズや経営課題を把握し、必要に応じて融資提案や経営改善計画の策定を支援していること、案件によっては、活性化協議会など外部機関とも連携し、本業支援を進めていることを紹介いただきました。

（2）事業承継・M&Aで企業と雇用を地域に残す

後継者の有無、経営者年齢、会社・従業員の状況を確認し、企業ごとに支援方針を策定していること、Ｍ＆Ａ仲介やＦＡ業務にも取り組み、成約案件も生まれていることを紹介いただきました。また、経営者の思いや事業の残し方を丁寧に確認し、可能な限り地域内で承継を完結させたいとの考えを共有いただきました。

（3）TKCモニタリング情報サービスを企業支援へ活用

令和８年８月末時点でＴＫＣモニタリング情報サービスの「決算書等提供サービス」は１５５件、「月次試算表提供サービス」は３２件の提供に留まっています。しまね信用金庫様からは、精度の高い情報を受け取るだけでなく企業の状況把握、資金繰り支援、訪問・フォローへ繋げることが重要との発言があり、「月次試算表提供サービス」の提供拡大への期待が示されました。島根県支部会員先生方におかれましては、未利用先へのご案内をお願いします。

（4）勉強会を通じた「顔の見える関係」の構築

決算書・申告書の見方、経営改善計画の策定、ＴＫＣモニタリング情報サービス活用などをテーマとする若手職員向け勉強会について意見交換を行い、担当者同士が一つの企業について気軽に相談し合える関係を築き、現場レベルの交流を継続していく方向性を確認しました。

4 対談で共有された今後の方向性

今後は、①職員勉強会の開催、②ＴＫＣモニタリング情報サービスの活用拡大③事業承継・Ｍ＆Ａ支援における情報連携から、具体的な取り組みを進めます。また、金融機関とＴＫＣ会員事務所の強みを生かし、地域企業の早期課題把握、資金繰り、経営改善、事業承継まで一体となった伴走支援の充実を目指します。

金融と会計の力を結集し、地域企業の未来をともに支えていきましょう！

作成：TKC山陰SCGサービスセンター